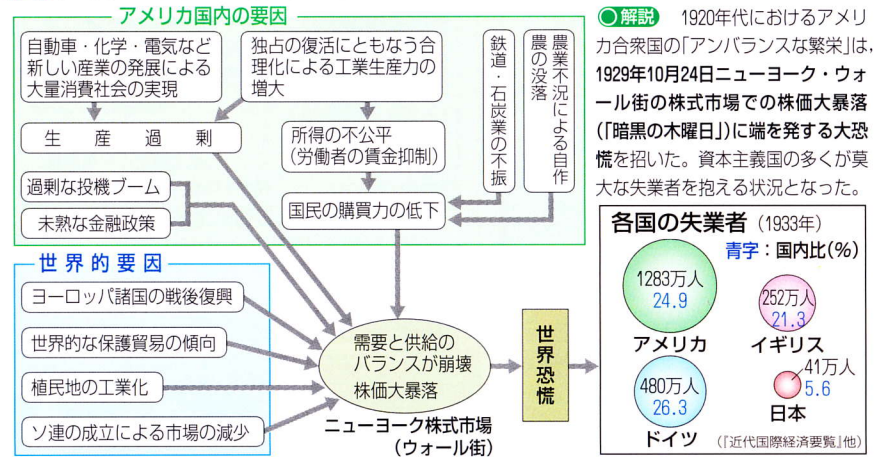
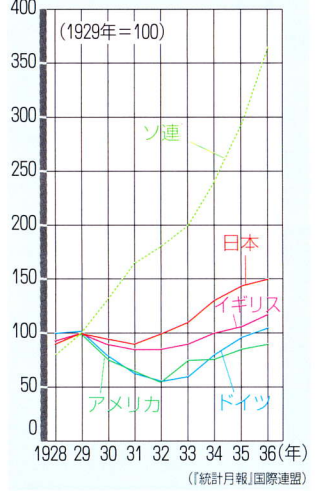


1 世界恐慌の要因と推移



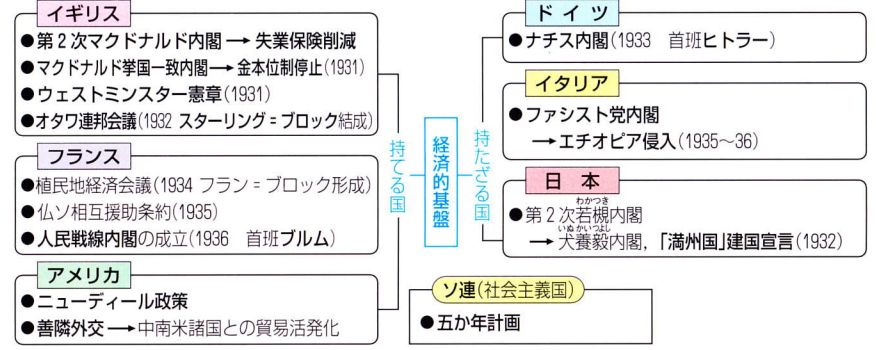
解説 1920年代におけるアメリカ合衆国の「アンバランスな繁栄」は、1929年10月24日ニューヨーク・ウォール街の株式市場での株価大暴落(「暗黒の木曜日」)に端を発する大恐慌を招いた。資本主義国の多くが莫大な失業者を抱える状況となった。

B 世界恐慌後の各国の工業生産

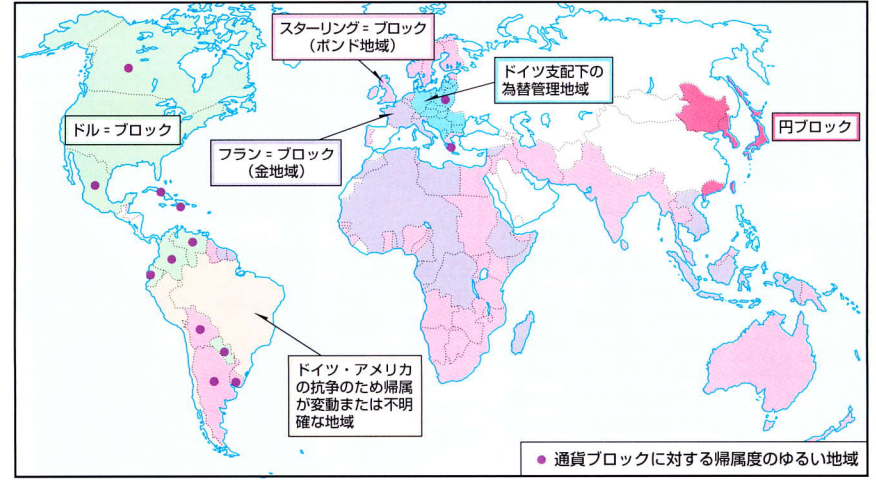


1杯のスープを求める失業者(1931年 ニューヨーク) 株価大暴落は大不況をもたらし、1932年にはアメリカの工業生産はほぼ半減した。あらゆる企業が倒産し大量の失業者がうまれた。全米各地の「スープキッチン」には写真のように背広姿の紳士も並んだ。(写真は当時着色されたもの)

A 恐慌後の各国の動向



2 ブロック経済



3 ニューディール政策

基本目標	救済と社会保障	経済復興	社会改革	ニューディール外交
3R政策 救済(Relief) 回復(Recovery) 改革(Reformation)	●緊急銀行救済法(1933. 3) …金本位制停止 管理通貨制の導入 ●緊急救済法(1933. 5) …5億ドルの資金で貧窮者を救済	●農業調整法(AAA)(1933. 5) …過剰農産物を政府が買い上げて農産物価格の下落を調整 ↓ 1936. 1 違憲判決 ●全国産業復興法(NIRA)(1933. 6) …政府による産業統制と労働条件改善を規定 ↓ 1935. 5 違憲判決	●テネシー川流域開発公社(TVA)(1933. 5) …政府企業によるテネシー-深谷の総合開発。失業者救済と民間企業の電力独占を規制 ●ワグナー法(全国労働関係法)(1935. 7) …労働者の団結権・団体交渉権を認める ●社会保険法(1935. 8) ●産業別組織会議(CIO)(1935. 11)	●善隣外交 …ニカラグア・ハイチより撤兵 キューバの独立承認(1934. 5) ●ソ連の承認(1933. 11) ●フィリピンの10年後の独立承認(1934. 3) ●中立法(1935. 5)

「不屈の人」フランクリン・ローズヴェルト(任1933~45)

「炉辺談話」

友人の皆さん、アメリカ合衆国の国民の皆さんに銀行業務について少しご説明したいと思います。……皆さんに、ここ数日に議会は何ををしたのか、なぜそれをしたのか、そしてこれからどんなことをしようとしているのかを話したいと思っています。(『フランクリン・ローズヴェルト伝』JNTT出版)

ニューヨークのオランダ系名門出身。39歳で小児麻痺にかかり、長い闘病生活を続けながら1932年大統領(民主党)に当選。優れた政治手腕により世界恐慌と第二次世界大戦という二大危機を乗り切った。

解説 新しいメディアであるラジオの活用で、人々は大統領に直接語りかけられているかのような印象を受けた。ローズヴェルトはこの他、政府の顧問団の招へいなど政治機構の新機軸をつくった。

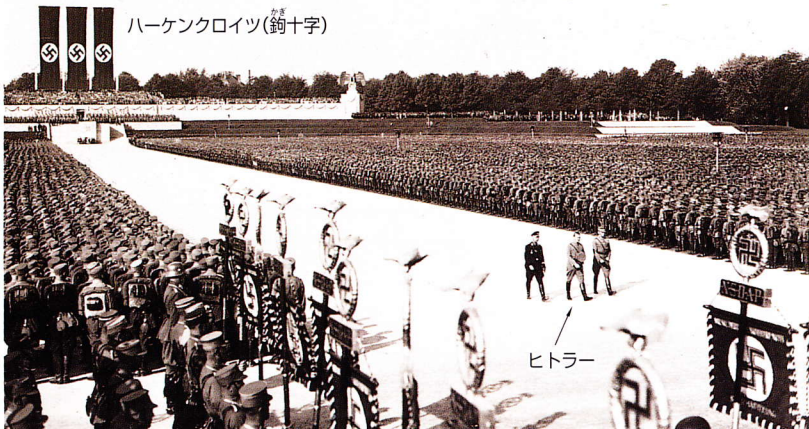
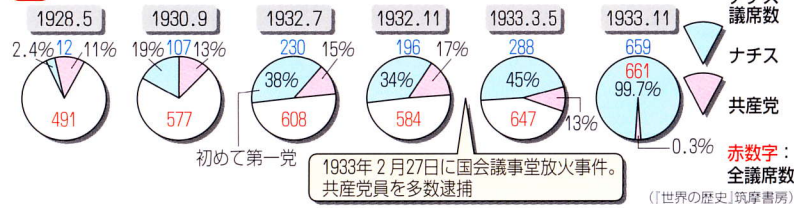


4 全体主義諸国 (P202, P213)

全体主義…ファシズム(伊)・ナチズム(独)・軍国主義(日)
ただし、4語は同義で使われることもある。
国内事項 対外事項

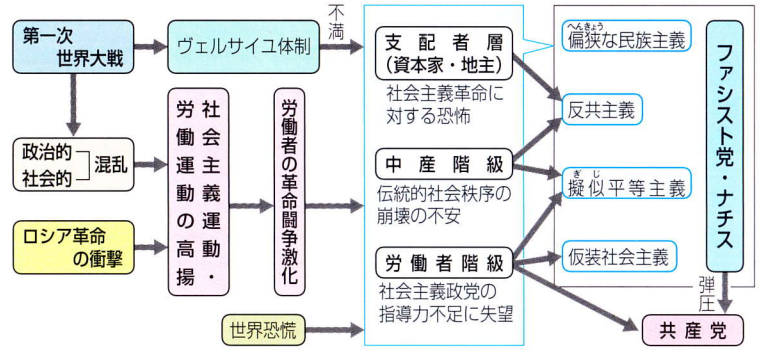
ドイツ	イタリア	日本	国際関係
1929 世 界 恐 慌		1931 慌	
1932 総選挙でナチス第一党となる		柳条湖事件	1931 フーヴァー=モラトリアム
1933 ヒトラー内閣成立 国会議事堂放火事件		満州事変 (~32)	1932 リットン調査団 オタワ協定
全権委任法成立 国際連盟脱退		上海事変	1934 ソ連の国際連盟加入
1934 ヒトラー、総統に就任		五・一五事件	1935.5 仏ソ相互援助条約
1935 ザール地方復帰 再軍備宣言	1935 ストラーザ戦線 (英仏伊の間で独に反抗)	1933 国際連盟脱退	ソ連・チェコ相互援助条約
義務兵役復活 英独海軍協定	エチオピア侵入	1934 海軍軍縮条約破棄	1935.7~.8 コミンテルン第7回大会 (「人民戦線」戦術)
1936 ロカルノ条約破棄 ラインラント進駐	1936 エチオピア併合	1936 二・二六事件	(P194写, P24338史)
四か年計画法発布 スペイン内乱介入	1936 スペイン内乱介入		1935.8 中国、ハルbin宣言
ベルリン=ローマ枢軸の成立(一連の侵略政策などで国際的に孤立していた独・伊の接近)		日独防共協定	1935.10 国際連盟、伊に経済制裁
1937 日独伊防共協定(反共・反ソを表明することにより資本主義諸国家の歓心を得ようとした。)		1937 盧溝橋事件	1936.2 スペイン、アサーニャ人民戦線内閣
1938 オーストリア併合 「水晶の夜」	1937 国際連盟脱退	日中戦争	1936.6 仏、ブルム人民戦線内閣
ミュンヘン会談(ズデーテン地方獲得)	1938 ミュンヘン会談	1938 国家総動員法成立	
1939 チェコスロヴァキア解体	1939 アルバニア併合	1939 東亜新秩序声明	
独ソ不可侵条約 ポーランド侵攻		1939 ノモンハン事件	

5 ナチスと共産党の議席数の割合

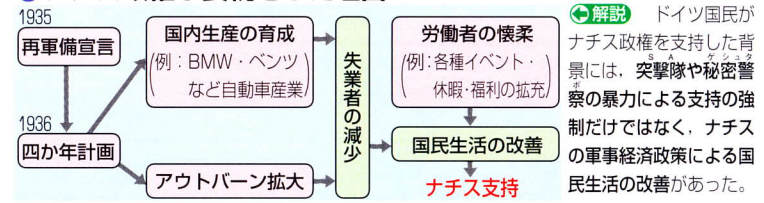


6 ファシズムの台頭(ドイツ・イタリア)

解説 ロシア革命の衝撃と第一次世界大戦後の政治的・社会的混乱から、労働運動・社会主義運動が高揚したが、この動きに対する戦闘的反革命としてファシズムが、ヴェルサイユ体制下のドイツ・イタリア・スペイン・東欧諸国など、いわゆる「持たざる国」で顕著にあらわれた。



● ナチス政権が長続した理由 (P242, 36史)



ファシズムに抵抗した文化人
ヘミングウェイ(米・1899~1961)
 第一次大戦を題材とした『武器よさらば』で名高い文豪。スペイン内乱では、国際義勇軍に参加、フランコ軍と戦った。

映画「チャップリンの独裁者」(米・1940年製作)
 チャップリンの代表作の1つ。当時独裁権をふるったヒトラーを痛烈に風刺している。

ピカソの「ゲルニカ」
 ピカソはフランス滞在中、故国スペインに起こった内乱でドイツによる北部バスク地方の町ゲルニカへの無差別爆撃を知り、怒りをこめてこの絵を描いた。(P232写)ソフィア王妃記念美術館(マドリッド)蔵

● ナチスのスローガン

- ヴェルサイユ体制の打破
- ユダヤ人排斥
- トラスト国有化
- 植民地の再配分
- 戦時利得の没収 (P194写)

● ナチスの集会 (1934年ニュルンベルク)
 ナチスは集会などで、巧みな演出により聴衆の心をひきつけた。